ŧ \otimes

敬

V

の言葉で会話

あじさい

やすんでもらう」など のを始末することを

が 何

進 時

5

れる土地柄です。

に多くの

さまが保存されたの

は

供をもらあつた」とか、

科名:ユキノシタ科、日本原産の落葉低木

花言葉:移り気、あなたは美しいが冷淡で。

花の形があります。なかでも「額紫陽花」

日本原産で17品種から25品種がある。 シーボルトが「日本植物誌」に紹介した

時はすでに17種類ものアジサイがあっ

の清楚な趣に殊の外感心をもっていた。滞

在6年もの間愛しつづけた女性の名前が

いをアジサイの花に託した物語。

「楠本滝」学名のOtaksa にそんな彼の想

シーボルトをはじめ多くの西洋人がアジ

サイを持ち帰り、西洋アジサイの品種は

500種ともいわれています。花屋さんの

鉢植えアジサイの色とりどりは、ほとんど

シーボルトは雨にぬれたヤマアジサイ

はガクブチのような形がおもしろい。

紫陽花 (アジサイ) にはいろいろの種類、

子供を授かることを、「子

ŧ

会 員 だ ょ L)

古墳と観音の

本務 関係にある。 北村又郎・高月町長と奥 を満喫、 訪問し、 日琵琶湖西岸の高月町を 市 は 滋 こんな関係からか、 「けや 民が平成18 市 機と言 き」を植樹された 市 長 イベントや散策 北の高月町は昔 は昔高月と言い が友好記念の R高月駅前で、 った様です。 年 10 月 21 高槻 観音のロ

んを見に行ったものです。近郊で、自転車で観音さ 也さん ました。 さまや風 葉を説明されながら観音 育った故 高月 高 月町 が方言 町 郷は、 学芸員佐 俗 0 (長浜市)の 説明をされ の暖かい言 一々木悦

> いう事です。 に沈めて、 \mathcal{O} 元 中に埋め の方々が観音さ が :焼き払 いたり、 わ 守 れ り た 水の中地 L たと

て湖北の無窮の歴史を記「町制 50 周年記念」とし 滋 賀県伊 香郡 高 月 町

や行か化い「事ををか たりが今に引き継がれや「野神まつり」のし を物語って 事として「おこな を大切に継 にこの 体に光を当て、 地 12 います。 承してきた \mathcal{O} 人々が しき V) 音 7 文

これも、 カゝ で満員でした。 満席で立ち見 センター多目的 ら JR ル 高槻市生涯 定員三百席 高月駅 J R 高槻 席 ま 駅 は ホ ま

で行けるようになった為 1 で でしょうか。 新 持っているからでは 高槻市民が関心を多 快速で乗り換えなし

この映画 した。

多くの

遺

録

され

映

画

古古

墳

堇 た、

が

上映され

ま と

跡

の成り立ちを端緒とし

すね。か思うのは メとかウットウシイ と大切な水なので、ジメジ 工田 亰 0 家 水 は を 潤 間違って Ļ 産 業、 1 ま

ます、駅以外の公共のバスは表 行くのには徒歩です。 に思いを馳せました。 今度は雨の日の自1 で 時間を要し の目的に使えって って V 11 ま 車

枟

九人 6 月、 梅 ょ 聝 水 雨

庭にとって一番 の自のい無 雨によ 然季よの節い 恵 b), 7

います。

ました。 です)(大阪 で今はやめ っています んか用か?)をつけて 筆者も固 定した傘さし 7 が、こわ 歩く事 \mathcal{O}

ります。 ても狭い でも車道 に肩がふれている事もないていてもすれ違う。 くして欲しい。 自 11 転 くなった事件があり日転車同志ぶつかく のにと思います。 車専用の 人の はこわ もっと歩 歩 道もあ 道もあります。 道、でもと れ違う時 そして自 V 0 つて亡 道 れ 歩道? を広 ば ょ あ

方なく自 日カッ を利用します。 パを着 転 車 7 乗 れ

味

W

いのです。が透明でないの 横を見ようとすると帽子 帽子は前方し いる人。 でもカッパの ので見えな

1

酒

い乗 片方の手で 思うと・・・ \ ! ! せて片手に傘をさして る その上 お 母さん。こわ もし 前後に子供を 傘をさし ₩んだらと てる

(サスベと言うんだそう おばちゃ 11 \mathcal{O} 乗

引き上 効 可 能 能 Щ 6 全部 ケ月保存。 一げる。 の材料を瓶 二年間 6ヶ月 に

脳心 血筋 栓予 梗 塞 防予 防

K

 $\widehat{\pm}$ 中ですが、ご協力を \mathcal{O} 開催されます。 市 が 七 月 S + 兀 暑 日

の日

 \mathcal{O}

自

転

車

は

うりまし

必要です

Ϋ́Ą

おい

)ます。

「西洋アジサイ」 です くな

る

か見えない。 る

2 梅ジュース

ホ 氷 梅ワ 砂

糖

700

g

1

k

シワイ

トリ

力

1.8

トリルツ

酢 氷 梅砂 1 K 700 g

10cc 糖

梅昆布 氷砂 梅 糖 1 酢 k 30 600

田の千鳥 酢 1200 香 1200 香 1200 1200 1200 がい С (京都 $\overset{\text{(1)}}{\smile}$ g 保存に入れ 村

自 転

車

は

歩

道

?

車

けて \mathcal{O} 物 いただくと上品 サラダなどに なお か